

平成26年度公益財団法人栃木県農業振興公社事業報告書

農業の振興と農村地域の活性化を図るため、国及び県等関係機関・団体との連携し、公益財団法人としての役割を發揮しながら「平成26年度事業体系」に掲げた各種事業を実施した。

事業の推進に当たっては、公社に蓄積されたノウハウやネットワーク機能などの強みを生かしながら公益財団法人として、事業の適正化、公益性を確保しつつ、円滑な事業の実施を行った。

特に今年度は、国の新たな農業・農村政策により創設された農地中間管理事業に取り組み、担い手等への農地利用の集積・集約化による農地の有効利用、農業経営の安定化を図った。

さらに、新たに県から移管された青年就農給付金事業（準備型）を推進するとともに就農相談会を開催するなど青年農業者の育成・確保対策にも取り組んだ。

また、県が設置した「とちぎ花センター」、「なかがわ水遊園」においては指定管理施設として第Ⅲ期初年度の管理運営を行った。

平成26年度事業体系



I 農地集積推進事業

農用地等の利用の効率化及び高度化を促進するため、県、市町、農業委員会及び農地利用集積円滑化団体等との連携の下に、社会・経済情勢の変化や農用地移動の動向等に即しつつ、農地中間管理機構としての体制整備を図りながら、農地中間管理事業及び農地売買等事業を実施した。

1 農地中間管理事業（公1・1 農地利用集積に関する事業）

農地中間管理機構として農地を借受け、担い手に集約して貸付ける事業及び担い手に貸し付けるまでの農地を管理する事業を実施し、担い手への農地集積及び集約化を図った。

(1) 農地の貸借

ア 貸借（借入れ）

事業名	件数	面積 (ha)	備考
農地中間管理事業（農地中間管理権設定）	532	509.9	
計	532	509.9	

イ 貸借（貸付け）

事業名	件数	面積 (ha)	備考
農地中間管理事業（農用地利用配分計画）	196	399.0	
計	196	399.0	

(2) 推進内容

項目	事業内容
① 取組み支援	集落営農組織の法人化による集積・集約化の取組や、集積・集約化の取組、個別担い手による集積・集約化の取組を支援した。 取組み実績 5地域
② 業務委託の実施	各市町・各市町農地利用集積円滑化団体・各農業協同組合に相談窓口を設置し、借受け・貸付け条件の確認・手続き等の業務委託を実施し、市町等関係機関との連携を図った。 相談窓口 64団体 業務委託数 53団体（申合せ含）
③ 借受希望者の公募	農地の受け手となる担い手（借受希望者）の公募を実施し公表した。 年4回（6月・9月・11月・2月） 借受希望者数 2,234名 借受希望面積 6,890ha

④ 事業の啓発・普及	① 事業の周知を図るため各市町キャラバンを実施し、関係機関団体への啓発・普及を図った。 ② 新聞広告、ラジオCM、リーフレット等の広報活動により、農業者等への周知、理解促進を図った。 新聞広告 3回（下野新聞） ラジオCM 136回（栃木放送） リーフレット 10種 約20万部
------------	--

2 農地利用集積連携事業（公1・1 農地利用集積に関する事業）

農地集積の円滑な推進のため、会議を開催し、関係機関団体と農地中間管理機構との連携強化を図った。

会 議	開催日	場 所	内 容
第1回 中間管理事業推進会議	H26. 6. 23	宇都宮市	① 窓口の設置について ② 農用地等の借受け希望者の募集について ③ 業務委託について 外
第2回 中間管理事業推進会議	H26. 10. 16	宇都宮市	① 推進体制の強化について ② 集積計画及び配分計画の作成状況及びスケジュールについて ③ 事業推進上の課題・質問等について 外
第3回 中間管理事業推進会議	H27. 1. 29	宇都宮市	① 農地中間管理事業の推進状況について ② 事業推進上の課題 ③ 今後の対応について 外

3 農地売買等事業（公1・1 農地利用集積に関する事業）

規模縮小を志向する農家等から農地を買い入れ、規模拡大を志向する認定農業者等に売り渡す事業を実施し、農地の利用集積を図った。

ア 売 買（買入れ）

事 業 名	件 数	面 積 (ha)	金 額 (千円)	備 考
農地売買支援事業	143	83.5	504,108	
公社営農地売買支援事業	42	13.0	89,379	
計	185	96.5	593,487	

イ 売 買 (売渡し)

事業名	件数	面積 (ha)	金額 (千円)	備考
農地売買支援事業	135	88.2	541,223	
公社営農地売買支援事業	50	17.1	113,989	
計	185	105.3	655,212	

Ⅱ 畜産・農用地等基盤整備事業

生産性の高い畜産経営の確立及び牧草地等の放射線低減を図るため、県・市町等の関係機関や農業団体と連携し、生産基盤の整備や環境整備等に関する次の事業を実施した。

【畜産関係基盤整備事業の総括表】

事業名	地区名	事業期間	H26事業実績			備考
			施工場所	事業参加者	H26事業費 (千円)	
畜産担い手育成 総合整備事業	那須北Ⅱ	H21～H26	那須塩原市	延1名	36,724	
	那須北Ⅲ	H21～H26	那須塩原市 那須町	延2名	76,419	
	日光高原	H25～H29	日光市	延5名	190,019	
	3地区		計		303,162	
畜産環境総合整備事業	栃木北西	H22～H26	塩谷町 鹿沼市 矢板市 那須塩原市 那須町	延7組織	184,605	
放射線量低減対策特別緊急事業		H23～H27	日光市 矢板市 鹿沼市 那須塩原市 那須町	延5市町	61,737	
合計	5地区		合計		549,504	

1 畜産担い手育成総合整備事業 (公1・2 畜産・農用地等基盤整備事業)

畜産産地として今後安定的な発展が見込まれる地域において、生産性の高い経営体群の育成と、これを核とした畜産主産地の再編整備を進めることにより、畜産経営の合理的かつ安定的な発展を積極的に推進するため、草地、畜舎、家畜排せつ物処理施設等の整備事業を実施した。

地区名	予算区分	施工場所	事業参加者	事業費(千円)	主な事業内容
那須北Ⅱ	H25 繰越	那須塩原市	1名	36,724	・地下式サイロ 1基
那須北Ⅲ	H25 繰越	那須塩原市	1名	43,025	・飼料畑造成 0.28ha ・飼料畑整備 3.60ha ・パーラー排水施設 1基
		那須町	1名	33,394	・飼料畑造成 0.84ha ・飼料畑整備 0.75ha ・畜舎整備 1棟
日光高原	H25 繰越	日光市	2名	101,756	・草地整備 4.57ha ・施設用地造成 1.20ha ・畜舎整備 2棟
	H26	宇都宮市	1名	2,505	・畜舎設計 1式 ・飼料畑造成整備設計 1式
		日光市	2名	85,758	・施設用地造成 0.69ha ・堆肥舎 [1]棟 ・酪農設備 1式
合計	H25 繰越		延5名	214,899	
	H26		延3名	88,263	
	計		延8名	303,162	

[] 次年度へ繰越し

2 畜産環境総合整備事業 (公1・2 畜産・農用地等基盤整備事業)

将来にわたり畜産主産地としての発展が期待される地域において、総合的な畜産経営の環境整備を行い、家畜排せつ物等の地域資源のリサイクルシステムを構築することにより、畜産経営に起因する環境汚染の防止と畜産経営の合理化を図る事業を実施した。

地区名	予算区分	施工場所	事業参加者	事業費(千円)	主な事業内容
栃木北西	H25 繰越	鹿沼市 那須町	2市町	17,514	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道 447 m ・牧柵 633 m ・四阿(あずまや) 1棟
	H26	塩谷町 鹿沼市 矢板市 那須塩原市 那須町	4市町・県	167,091	<ul style="list-style-type: none"> ・草地造成 0.65 ha ・牧柵 8,082 m ・四阿(あずまや) 1棟 ・農機具導入 2台 ・動物ふれあい施設 1棟
合計			延7組織	184,605	

3 放射線量低減対策特別緊急事業 (公1・2 畜産・農用地等基盤整備事業)

東日本大震災による原子力災害により汚染された公共牧場等の永年牧草吸収抑制対策等及び指定廃棄物一時保管業務の事業を実施し、放射線量の低減を図った。

区分 (対象)	施工場所	事業費(千円)	主な事業内容
環境省事業 (牧草等放射性指定廃棄物)	矢板市 那須町 那須塩原市	17,160	指定廃棄物の一時保管工事の 設計書作成・工事施工監理
農水省事業 (県内公共牧場)	日光市 鹿沼市 那須町	44,577	永年牧草地の反転耕・深耕等による 吸収抑制対策に係る設計書 作成・工事施工監理
合計		61,737	

4 大笹牧場管理受託事業 (収2事業)

原子力災害により影響を受けた牧草地において、牧場機能の再生を図るため、施設の適正な管理を行い牧場が持つ多面的機能と畜産振興に係る整備を受託した。

Ⅲ 農業後継者育成確保事業

次代を担う優れた青年農業者の育成・確保を図るため、県及び関係機関・団体等との連携のもとに、農業後継者育成確保基金事業及び青年農業者等育成センター事業を実施した。

1 農業後継者育成確保基金事業 (公2・1 自主事業)

県・市町・農業団体・農業者等の協力で造成された農業後継者育成基金の運用益により青年農業者の育成等を図るため、次に掲げる事業を実施した。

(1) 国際化サポート事業

就農希望の青少年や青年農業者を対象に、国際化に対応できる経営感覚に優れた農業者の育成を図るため、次の事業を実施した。

ア 農業学生海外研修支援事業

期 日 (期 間)	研 修 先	事 業 内 容
H26.7.6～18 (13日間)	ニュージーランド	栃木県農業学校クラブ連盟主催 「ニュージーランド派遣農業研修」2名助成

イ 海外長期研修支援事業

期 間	研 修 先	参 加 者	事 業 内 容
17ヶ月	アメリカ	那須塩原市 永森 啓太 大田原市 石崎 倫成 小 山 市 篠原 智道	海外における農業経営、技術等の研修 (渡航前講習等を含む)

ウ 海外短期派遣研修事業

期 間	研 修 先	参 加 者	事 業 内 容
H26.9.29 ～10.8 (10日間)	オランダ イタリア フランス	県公社派遣農業青年 14名 役員 2名 計16名	水稻・園芸・酪農の大規模経営視察、自治体視察、アールスメール花き市場、経営者との意見交換、スローフード研修 他

(2) 担い手チャレンジ支援事業

青年農業者等を対象に、農業及び農家生活等に関する知識、技術の向上を図るため、次の事業を実施した。

ア 経営発展活動支援事業

実 施 者	事 業 内 容
鹿沼市 大橋 正輝 外4名 計5名	いちご栽培における炭酸ガス処理によるハダニ類防除法の実証 外4課題

(3) 組織活動サポート事業

青年農業者の仲間づくりや自己研鑽を図るため、自主的な組織活動を支援した。

ア 組織活動支援事業

実施団体	事業内容
栃木県青少年クラブ協議会	集団活動の促進、仲間づくり活動の活性化、青年農業者の資質向上

イ 青年農業者地域貢献支援事業

実施団体	事業内容
上三川町農村青少年クラブ協議会 外 8 組織	未利用地を活用したひまわり栽培と花配布を通じた地域農業の理解促進活動外 8 組織による地域貢献事業

ウ 全国技術交流派遣事業

期 日	場 所	参 加 者	事 業 内 容
H26. 7. 9	栃木県 (宇都宮コンセル)	青年農業者 99名 農業振興公社 3名 計 102名	平成26年度関東ブロック農村青少年クラブプロジェクト実績発表会及び交流イベントを当番県として開催
H27. 3. 3 ～4	東京都(国立オリンピック記念青少年総合センター)	青年農業者 9名 農業振興公社 1名 計 10名	第54回全国青年農業者会議への参加による県外青年農業者との交流(プロジェクト活動発表・交流会他)

(4) いきいき農業・農村情報発信事業

青年農業者が自信と誇りを持って農業に取り組むことができるよう、青年農業者が行う農業・農村の理解促進のための活動を支援した。

ア 青年農業者と消費者の交流促進事業

期 日	場 所	実 施 団 体	事 業 内 容
H26. 10. 19	壬生町 みぶハイツ パーク	栃木県青少年クラブ協議会	フレッシュファーマーズマルシェ 2014 来場者：2,800名

2 青年農業者等育成センター事業 (公2・1 自主事業)

農業従事者の減少・高齢化が進行している中、次代の本県農業を担う新規就農者の確保が急務となっている。この様な課題を解決するため、新規就農希望者に対し就農促進啓発や就農相談活動等を実施した。

(1) 就農支援事業

本県農業の担い手となる幅広い就農希望者を対象に、就農促進啓発や就農相談会等を実施するとともに、就農支援情報(農地情報等)の収集、蓄積、情報提供を行い、就農促進を図った。

ア 就農促進啓発事業

① 就農相談活動等

期 日	事 業 内 容
H26. 4～ H27. 3	新規参入希望者等に対する就農相談活動、就農に関する情報収集・提供 相談件数 68件
H26. 6. 1 7. 13 9. 14 12. 7 H27. 2. 1	新規就農相談会 in とちぎ (宇都宮市) の開催 (開催回数 5回) 相談件数 64件
H26. 12. 6	新規就農相談会 in 品川 (ハローワーク品川) の開催 相談件数 10件
H26. 7. 5 9. 20 11. 1 12. 20 H27. 2. 8	新・農業人フェア (東京都・北海道) での就農相談ブースの出展 出展回数 5回 相談件数 135件
H26. 9. 21	ふるさと回帰フェア (東京都) 相談件数 12件
H26. 8. 26	新規参入フォーラム in とちぎ 2014 (宇都宮) の開催 参加人数 96人
H26. 12. 13	新規参入現地セミナー in とちぎ 2014 (県内) の開催 参加人数 24人
計	就農相談件数 289件 (対前年比 85%)

② 就農促進啓発活動

事 業 項 目	事 業 内 容
就農啓発促進資料の 作成・配布	<ul style="list-style-type: none"> ・「とちぎで農業はじめよう」がトブックの作成・配布による就農啓発 (作成部数 1,000部) ・新規参入事例集の作成、配布による就農啓発 (作成部数 2,000部) ・ホームページ作成、更新による就農啓発 (13回更新)
新規参入・就農支援 活動の広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞広告掲載による就農啓発 (掲載回数6回) ・就農相談会開催チラシの作成・配布

イ 就農サポート事業

事 業 項 目	事 業 内 容
就農情報バンク	就農支援情報の整備件数 46件 (うち、H26新規情報7件)

(2) 青年就農給付金事業（準備型）

青年の就農意欲の喚起を図るため、就農前の研修期間（2年以内）に就農給付金（年間150万円）を給付し、円滑な就農を促進した。

募集期間	事業内容
第1回募集 H26. 5. 9～5. 23	第1回目の給付件数：13件
第2回募集 H26. 7. 25～8. 8	第2回目の給付件数：9件
第3回募集 H26. 10. 17～10. 31	第3回目の給付件数：11件
第4回募集 H26. 12. 24～H27. 5. 23	第4回目の給付件数：20件
	平成26年度給付件数：53件、平成25年度継続給付件数：9件 *計62件

IV 6次産業総合推進事業

農業者が農業・農村に存在する豊かな「地域資源」を活用し、生産ばかりでなく加工・販売まで取り組む6次産業（1次産業×2次産業×3次産業）の創出と、農商工連携による地域ビジネスの創出を促し、農業・農村の活性化を図る取組を支援した。

1 フードバレーとちぎ農商工ファンド事業（公2・1 自主事業）

事業区分	事業内容
1 販路開拓の支援	新商品等の販路拡大の取組を推進するため、商談会等の出展を支援した。 ・アグリーフード [®] EXP02014に出展（8月20～21日）、出展者数：2
2 交流研修会の開催	農業者と異業種連携によるネットワークの構築を推進するため、交流研修会を開催した。 ・開催日：1月8日、参加者205名
3 若手起業者の育成	農商工連携を推進するため、若手起業者を対象に先進地事例研修会を開催した。 ・開催日：10月9日、参加者：29名

2 6次産業総合推進事業（公2・2 受託事業）

事業区分	事業内容
1 アドバイザーの派遣	6次産業化を目指す農業者を対象にアドバイザーを派遣し、生産から商品開発、事業化まで一貫して指導を行った。 ・アドバイザー派遣延回数：55回、国の6次産業総合化事業計画認定：10件
2 6次産業化への取組支援	農業経営の多角化や地域の産業連携等を支援する相談窓口（栃木6次産業化サポートセンター）を本年度も設置した。 ・設置場所：（公財）栃木県農業振興公社内 ・相談件数：177件、アドバイザー派遣件数：55件 ・情報発信：過年度作成したセンター活用ガイド、認定事例集を活用
3 6次産業化実践塾の開設	若手の農業者を対象に新たな農業を創造できる人材を育成するため、とちぎ6次産業化実践塾を開講した。 ・6次産業化実践塾：6回（開講日9月9日）、受講者：延べ129名

〈参考〉平成26年度「国の6次産業化総合化事業計画」認定状況

No.	事業申請者	事業内容
1	(株)篠原ファーム	自社生産いちごを活用したスイーツ（ジェラート、ケーキ、焼き菓子）の製造・販売
2	(有)川田農園	自社生産野菜の真空加工、急速冷凍加工野菜を飲食店に販売
3	(株)かっぺ	いちごの移動摘み取り、自社生産いちご加工品（アイス、スムージー）の販売
4	(有)ハーレイ牧場	自社生産の生乳を活用した「スティックチーズ」の製造・販売
5	中嶋 正	自家生産そばの焼き菓子&パン製造、「かしこ」「そば処蕎香」等での販売
6	野口いちご園	自家生産「とちおとめ」を活用した「イチゴミルクのもと」の販売
7	(有)那須岡田牧場	自社の牛糞を活用した「牛のさらさら堆肥」の製造・販売
8	刈部養鶏場	自社生産鶏卵と栗ぼろたんを活用した「栗プリン&シフォンケーキ」の製造・販売
9	(株)野村牧場	自社生産の牛肉を活用した「牛肉・特製うまいもんシリーズ」と精肉の販売
10	(社福)パステル	自ら生産した桑葉を活用した「パウダー、麺類、スイーツ」の加工・販売

※認定件数：H23年度5件、H24年度10件、H25年度8件、合計33件

V 農村振興事業

農村地域の活性化を図るため、経営構造対策事業等を実施した市町等に対し、事業実施後の点検や評価、施設の有効利用に向けた適切な運営の指導・助言を行ったほか、農業・農村の多面的な機能等を理解してもらうため、各種コンクールの開催や地域活性化に意欲的な組織活動を支援した。

また、農村地域が持つ自然環境や伝統文化（食・行事等）、多彩な農産物などの豊かな資源を活かしながら、創意と工夫による都市と農村の交流、食の回廊づくり、中山間地域における農地保全活動等、魅力と元気のある農業・農村づくりを支援した。

1 農業農村活性化支援事業（公2・1 自主事業）

(1) 経営構造対策推進事業

事業区分	事業内容
1 経営構造コンダクターの設置	農業経営、流通、加工、交流等の専門家を経営構造コンダクター及びアドバイザーとして設置し、派遣指導を行った。 ・派遣回数：2回、コンダクター(常勤)1名、アドバイザー(非常勤)13名
2 推進会議の開催	指導推進会議を開催し、活動方針の作成や課題の検討を行った。 ・指導推進会議：6回
3 情報の収集・提供	「とちぎ発元気農業」の発行及び事業推進に必要な各種情報の収集・提供を行った。 ・情報誌発刊：2回
4 経営分析指導	事業により整備した諸施設の運営等実態把握及び指導助言を行った。 ・地区数：5地区、調査回数24回
5 研修会の開催	事業で整備した施設の財政管理上の諸手続や、地域活性化と都市農村交流施設の役割等、農業農村活性化研修会を開催した。 ・開催日：11月20日 ・場所：とちぎアグリプラザ、参加者：35名

(2) 農業農村活性化事業

事業区分	事業内容
1 地域活性化の取組支援	地域農業振興アドバイザーを派遣し農村の活性化を図った。 ・派遣数：1件
2 農業農村への理解促進	農業農村児童画コンクール及び美しいとちぎのむら写真コンテストを開催し、優れた作品を各種イベント等で紹介するなど、農業農村への理解促進を図った。 ・児童画コンクール 応募点数1,371点 (県内小学校377校のうち167校参加) 知事賞、教育長賞、農政部長賞授与(各3点ずつ) 県庁15Fロビー展示(10月、2月) ・写真コンテスト 応募点数143点 (県内12の中・高等学校参加) 知事賞、教育長賞、農政部長賞授与(各2点ずつ) 県庁15Fロビー展示(10月、2月)

2 都市農村交流推進事業 (公2・1 自主事業)

事業区分	事業内容
1 指導員の設置	農産物直売所等の都市農村交流施設の健全な運営や安全・安心な農産物の提供等の支援活動を行う「都市農村交流施設等活性化推進員」を設置した。 ・指導員（常勤）1名
2 指導活動の内容	①平成26年度に実施した農産物直売所等の動向を調査し、その結果を集計及び分析を行った。 ②消費者の食の安全に対する関心の高まりに対応するためのマニュアル「安全・安心の手引き」を2,500部作成、配布した。 また、この冊子を元に県内5か所を巡回指導したほか、グリーンツーリズムに携わる職員を対象とした研修会を開催した。

3 とちぎ食の回廊づくり推進事業 (公2・2 受託事業)

事業区分	事業内容
1 連絡会、研修会の開催	①県内の10の食の街道間の情報交換や連携事業の実施検討を行うための連絡会を開催した。 ・期日：7月2日、場所：県総合文化センター、参加者：17名 ・期日：2月16日、場所：うつのみやろまんちっく村、参加者：23名 ②食の回廊の魅力向上及び誘客アップのための研修会を開催した。 ・期日：7月2日、場所：県総合文化センター、参加者：87名 ・期日：2月16日、場所：うつのみやろまんちっく村、参加者：34名
2 連携事業の支援	各食の街道の連携によるPRイベント等の活動に対する支援を行った。 ・連携事業：8回、参加街道：述べ31街道

4 中山間地域活性化推進事業 (公2・2 受託事業)

(1) とちぎ夢大地応援団推進事業

事業区分	事業内容
1 広報活動の実施	①農地の保全活動等のボランティア活動の情報を収集し、ホームページや情報誌等を利用して発信した。 ②情報誌「はばたけ夢大地」の作成、配布 ・情報誌発刊：2回 ③夢大地応援団員の募集 ・26年度末応援団員登録者数：229名
2 啓発活動の実施	夢大地応援団受け入れ地区のリーダーや、応援団員を対象に、夢大地セミナーを開催した。 ・期日：1月24日、場所：とちぎアグリプラザ、参加者：33名

3 ボランティア活動の支援	農地保全活動等のボランティア活動を実施する地区を支援した。 ・新規地区：1地区、自主地区：8地区
4 夢大地応援団カレッジ活動	次世代を担う学生による、農作業体験を交えた農地や農村景観等の保全活動を通して、農業・農村の必要性や重要性についての理解促進を図った。 ・期日：6月7日、場所：大田原市須賀川地区、参加者52名 ・期日：6月14日、場所：栃木市大柿地区、参加者55名 ・期日：12月13日、場所：佐野市上仙波地区、参加者19名
5 企業と連携した活動	企業と連携した農地保全活動を実施した。 ・期日：3月8日、場所：栃木市大柿地区、参加者：30名

(2) むらおこしプランナー事業

事業区分	事業内容
1 研修会の開催	リーダー育成のため研修会を開催した。 ・内容①地域づくり実践活動事例、②ワークショップ実践研修 ・期日：1月24日、場所：とちぎアグリプラザ、受講者数：33名
2 現地研修会の開催	リーダー育成のため現地研修会を開催した。 ・研修先：①足利市名草ふるさと自然塾、②栃木市太平山南山麓友の会 ・期日：3月7日、場所：足利市・栃木市、受講者数：15名

VI 食と農の理解促進事業

多くの県民に対し、食の大切さやその食を支える農の役割を伝えることを目的とし、とちぎアグリプラザを拠点とした食と農に関する各種相談・講座開催・情報提供等を行った。

特に、自主事業である「つなごう！食と農実践講座」（有料講座）では、食と農の理解促進に向けた取組を積極的に行う企業等の協賛を得ながら県民に対し啓発活動を実施した。

また、子どもたちへの食育を推進するため、とちぎ食育応援団を活用した「とちぎっ子食育出前講座」に取り組んだ。

1 とちぎアグリプラザ管理運営事業 (公2・1 自主事業)

事業区分	事業内容
1 管理運営	とちぎアグリプラザ（県民の利用に供する部分）の管理運営を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・施設や設備の維持管理（地上3階 延べ床面積1,804.72㎡） ・食と農に関する図書類やとちぎ子どもの食育ライブラリーにある教材の貸出等の管理運営 ・アグリプラザ利用者 14,171名（うち、食と農の交流室利用者3,465名）
2 アグリプラザを活用した食と農の理解促進	県民が食と農に対し理解を深めるため、食と農に関する相談及び情報の提供等を行った。 ①イベントにおける食と農の理解促進活動とアグリプラザのPR <ul style="list-style-type: none"> ・県庁 de 愛ふれあい直売所出展（4～3月：10回） ・JA全農とちぎパワフルアグリフェア（7月26、27日）出展 ・とちぎアグリプラザまつり開催（11月15日） ②生産者と消費者の交流を目的とした「アグリプラザ農産物直売所（水曜夕市）」の開設 ③地域、市町等で行うイベントの活動支援（食育応援団の派遣） ④食と農関連教材、パネル等の貸出 ⑤農業関係機関・団体や消費者グループ等に対する活動支援（アグリプラザの活用） ※直売所開設回数：計36回

2 食と農の理解促進事業 (公2・2 受託事業)

(1) 食と農の理解促進プロモーション事業

多くの県民に食と農の理解を加速的に広げるため、県との連携の下、食や農に関する知識の習得と併せ、講座で得た知識や情報を地域へ伝える「食と農の伝道者」としての人材育成を目的とする各種講座を開催した。

事業区分	事業内容
「つなごう！食と農実践講座」の開催	とちぎアグリプラザを中心に「食」「農」「地域」「環境」などに関する各種講座（「つなごう！食と農実践講座」）を開催した。 開催時期：8～12月、回数：8回、受講者：58名 <ul style="list-style-type: none"> ・総合コース 8回 46名受講 ・選択コースA 6回 10名受講 ・選択コースB 6回 2名受講

その他時事講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の食育講座「秋の恵みを食べつくそう」 98名参加 ・冬の食育講座「とちぎの農産物 de クリスマスケーキにトッピング」 131名参加 ・春の食育講座「とちぎの農産物 de 肌活ビュッフェ」 129名参加
------------	---

(2) とちぎ食育応援団活用促進事業

事業区分	事業内容
1 応援団員募集、登録、管理等	<p>食育を推進する担い手として活動する「とちぎ食育応援団」団員の募集、登録、管理等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・26年度末応援団員登録数：433名
2 情報誌の発行	<p>とちぎ食育応援団の活動と情報交換等を促進するため、「とちぎ食育応援団だより」を発行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌発行：2回、5,000部
3 研修会の開催	<p>とちぎ食育応援団の活動が県民の食育実践に資するよう、そのノウハウを習得する研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：1回、参加者：41名
4 とちぎっ子食育出前講座の実施	<p>とちぎ食育応援団の実演・指導により、子どもたちやその保護者等を対象とした食育実践に向けた講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回数：45回、指導応援団員数：延96名、講座参加者数：2,172名

3 とちぎアグリプラザまつり開催

とちぎアグリプラザに入居する4団体が連携し、一般県民にとちぎアグリプラザの周知と食と農の理解促進を図ることを目的として、とちぎアグリプラザまつりを開催した。

期 日	事業内容
平成26年11月15日	<p>入居4団体の事業紹介、県内農産物等の展示販売、食育・地産地消情報の発信、とちぎの食材を活かした料理の体験等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者 約3,000名

Ⅶ とちぎ花センター管理運営等事業

本県における花の振興と、花とのふれあいによる心豊かな人づくりを目的に、県が栃木市に設置した「とちぎ花センター」において、指定管理者の指定に基づく管理運営業務及びこれに関する附帯事業など次に掲げる事業を実施した。

1 指定管理者の指定に基づく管理運営業務 (公2・3 指定管理事業)

(1) 施設管理事業

とちぎ花センター施設の維持管理、鑑賞大温室内植物の育成管理、入館料等の徴収事務等の業務を実施した。

管理建物 16棟 6,392㎡ (内 鑑賞大温室 2,225㎡)
敷地 花壇等 3.0ha

項目	平成26年度の実績
入園者数	322,680名 (計画360,000名)
有料入館者数	21,373名 (計画28,000名)

(2) 生産振興事業

生産温室では、企画展等での展示品種の栽培・育成を実施した。また、県農業試験場と連携し、県で開発した新品種の展示等を通して、県産花きや生産者等の情報発信を行った。また、稀少なハーブ、ペゴニアなどの品種保存を行った。

展示温室では、消費者に関心の高い切花と鉢物を計画的に展示し、県内生産者のPRと品種の紹介を実施した。

(3) 普及促進事業

花とのふれあいを通して憩と安らぎの場を提供するため、大花壇の植栽、企画展の開催、園芸教室の実施、フラワーフェスティバル等イベントの開催に取り組んだ。

また、その実施に当たっては、ボランティアとの協働により地域に根ざした運営を行った。

項目	業務内容
鑑賞大温室内の植物展示	熱帯・亜熱帯植物及び砂漠地帯の植物等を常設展示した。
企画展の開催	鑑賞大温室第1企画展示室において年間8回、テーマ別展示を実施した。 ① 5/8～6/8 紫陽花展 ～西洋アジサイの魅力～ ② 6/10～7/21 大南米展 ～ワールドカップ開催地の植物たち～ ③ 7/23～8/31 不思議?植物展 ～変わった生物たち～ ④ 9/6～10/5 いろんな生物標本展 ～透明標本からプリザーブドフラワーまで～ ⑤ 10/7～11/16 癒しの植物展 ～ココロもからだもリフレッシュ～ ⑥ 11/18～12/24 クリスマスを彩る冬の花展

	<p>～シクラメンとポインセチアの競演～</p> <p>⑦ 1/2～2/22 春の妖精プリムラ展 ～春を告げる可憐な花たち～</p> <p>⑧ 2/24～5/10 世界の洋ラン展 ～洋ランの女王カトレアの魅力～</p>															
大花壇等の植栽	大花壇では年3回のデザイン花壇の植栽を実施した。また、中小花壇では、宿根草など季節に応じた多彩な品目を植栽した。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>植物</th> <th>デザイン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(10/17)～5/11</td> <td>パンジー・ヒオラ・チューリップ</td> <td>じゃぼんだま</td> </tr> <tr> <td>5/19～7/13</td> <td>パチュニア・マーゴールド</td> <td>扇</td> </tr> <tr> <td>7/21～10/13</td> <td>パゴニア・アングロニア</td> <td>とちはなちゃん</td> </tr> <tr> <td>10/21～(5/10)</td> <td>パンジー・ヒオラ</td> <td>虹</td> </tr> </tbody> </table>	期間	植物	デザイン	(10/17)～5/11	パンジー・ヒオラ・チューリップ	じゃぼんだま	5/19～7/13	パチュニア・マーゴールド	扇	7/21～10/13	パゴニア・アングロニア	とちはなちゃん	10/21～(5/10)	パンジー・ヒオラ	虹
	期間	植物	デザイン													
	(10/17)～5/11	パンジー・ヒオラ・チューリップ	じゃぼんだま													
	5/19～7/13	パチュニア・マーゴールド	扇													
7/21～10/13	パゴニア・アングロニア	とちはなちゃん														
10/21～(5/10)	パンジー・ヒオラ	虹														
園芸教室の開催	<p>身近なテーマによる体験型の園芸教室を開催するとともに、イベントの開催に併せて特別園芸教室を実施した。</p> <p>・園芸教室 28回 550名参加、 特別園芸教室 160回 1,527名参加</p>															
イベントの開催	<p>春のフラワーフェスティバルやローズフェスタなど年間9回のイベントを開催した。その中で、開園時間を延長して夜のイベントも開催した。</p> <p>① 5/3～6 春のフラワーフェスティバル ② 5/17～6/8 ローズフェスタ ③ 7/26・27 花センターde トロピカルナイト ④ 8/15～17 ホラーガーデン～夜の植物園へようこそ～ ⑤ 10/11～13 秋のフラワーフェスティバル ⑥ 11/1～3 メープルフェスタ ⑦ 12/6・7・13・14・20・21 クリスマスファンタジー ⑧ 1/2～4 お正月スペシャル ⑨ 2/28～4/5 スプリングカーニバル</p>															
とちはなカレッジの開催	<p>花の専門的知識を希望する方を対象に、「ガーデニング講座」「バラ講座」など7コースからなる「とちはなカレッジ」を開講し、地域で花の普及に活躍できる人材を育成した。</p> <p>・「とちはなカレッジ」受講者 68名</p>															
県民ボランティアとの協働	<p>①とちはなちゃんファンクラブであるボランティアを募集し、年3回の大花壇植栽や夏場の除草などを実施した。</p> <p>②バラ講座修了者でボランティア組織「ローズクラブ」を結成し、会員がセンター内のバラ園の管理や来園者にバラ園の案内や見所などを紹介する活動を行った。</p>															
園芸相談	植物の栽培管理等についての相談に随時対応した。															

2 附帯事業（花き類販売等事業）

会社の自主事業として花き販売所の運営を実施した。

Ⅷ なかがわ水遊園管理運営等事業

那珂川の豊かな水と緑に親しみ、水生生物とふれあう場を提供することにより、その沿川地域の自然と文化についての県民の理解を深めるとともに、都市と農村との交流の促進を図ることを目的に、県が大田原市に設置した「栃木県なかがわ水遊園」において、指定管理者の指定に基づく管理運営業務及びこれに関する附帯事業など次に掲げる事業を実施した。

1 指定管理者の指定に基づく管理運営業務 (公2・3 指定管理事業)

(1) 施設管理事業

園内各施設の維持管理、植栽管理等の管理業務を実施した。

項目	施設の内容等
建物	おもしろ魚館(愛称:フィッシュパル) 展示ゾーン : 延べ床面積 4,500 m ² : 総水量 約 600 t : 水槽数 48 基 体験交流ゾーン : 延べ床面積 1,500 m ² おさかな研究室、味わい工房、創作工房等
公園	面積: 約 25 ha 施設: 芝生広場、お魚ふれあいステーション、水の広場、公園サービスステーション等
おもしろ魚館 入館者実績	入館者数: 259,657名(計画 252,000名) 有料入館者数: 177,383名(計画 175,000名)

(2) 広報活動事業

本園の展示企画と季節に合わせたイベント開催の情報を、各メディア、行政・教育機関等に配信し、また、集客場所を活用してのPR活動を積極的に展開し、本園への集客力を高めるとともに、那珂川沿川地域の活性化にも努めた。

項目	事業内容
広報配布物	ポスター・チラシ・リーフレット・ミニカレンダー・体験講座メニュー等の配布
広報媒体	有料活用: 新聞・テレビ・ラジオ・旅行雑誌・野立看板 無料活用: ホームページ・メールマガジン・新聞・テレビ・ラジオ・各種雑誌・市町広報誌・大田原市・那珂川町内回覧板

広報活動	<p>県等自治体主催の行事</p> <p>①県庁展示コーナー出展（7月、12月、3月）</p> <p>②県民の日イベント出展（6月）</p> <p>③とちぎ“食と農”ふれあいフェア（10月・県主催・宇都宮市）</p> <p>④天狗王国秋まつり開催（10月・大田原市主催）</p> <p>⑤大田原産業文化祭出展（11月・大田原市主催）</p> <p>その他</p> <p>①AtoZ・FIGHT7プロジェクトキャンペーン（3月～12月）</p> <p>②企画展PR広報活動（6月、11月、2月）</p> <p>③その他園外PR活動（通年）</p>
------	--

(3) 展示活動事業

那珂川に棲息する水生生物を中心に、日本の淡水魚、世界の淡水魚等の展示、飼育を行うとともに、漁具その他標本を収集し、おもしろ魚館展示ゾーンでの展示業務を実施した。

また、夏、冬及び春の企画展をそれぞれ開催した。

項目	細目	事業内容
展示活動事業	展示テーマ 展示生物	「那珂川から世界の川、そしてあこがれの海へ」 那珂川の水生生物、県内の水生生物、日本の希少魚、 熱帯雨林・珊瑚礁の魚等（約300種、約20,000尾）
展示活動事業	企画展	春：(3/4)～5/6「ワイルドハンターズ～狙った獲物は逃さない」 夏：7/12～8/31「VOICE OF SPECIES～絶滅の危機にある生き物たち」 冬：11/18～1/18「小さな生き物展」 春：3/3～(5/10)「生き物ものまねグランプリ」
	特別展示	奇跡のナマズ（8/11～） ザリガニグランプリ（7/15～9/15） お菓子な名前の生き物たち！？（9/30～10/31） 水色のアマガエル（10/21～11/16） デンキウナギのイルミネーション（12/1～25） 干支（ひつじ）展示（12/27～1/18） サケの卵・稚魚（12/11～2/6） バレンタイン関連魚展示（1/24～2/15） アマゾン南米蘭展（2/7～3/15） 壁ドンコ（3/10～3/29）
その他の事業	バックヤード ツアー	水族館内の仕組みや働き等について来館者に説明した。 （学校等団体3,706名、一般925名） 開催：土・日・祝日・夏休み 他
	おもしろ魚教室	解説員による紙芝居、クイズに答えながら水中の生き物について 楽しく学べる教室を開催した。（4,507名） 開催：土・日・祝日

	水辺環境授業 等学校支援	ミヤコタナゴ生息地の保護活動等（19回）、総合学習の時間（10回）や農地・水保全管理支払交付金の事業支援（16回）など県内小学校や地域の団体等の活動を支援した。
その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴールデンウィークスペシャル（4/26～5/6） ・ Viva! マナウスキャンペーン（6/1～7/6） ・ 県民の日特別イベント（6/14, 15） ・ サマースペシャル（7/12～8/31） ・ ナイトアクアリウム（7/25, 8/1, 8/8, 8/22） ・ ハロウィンカルナバル(10/1～31)ハロウィンナイトビュー（10/12） ・ ライトアクアリオ（11/18～1/18） ・ クリスマスナイトビュー（12/23）、サンタの水中散歩（12/2～24） ・ 正月関連イベント（1/1～1/18） ・ 節分イベント、バレンタインイベント（1/24～2/15） 	

(4) 体験交流事業

子どもから大人までを対象に、魚とふれあい、ふるさと体験のできる多彩な講座により、体験交流事業を実施した。

項目	事業内容	体験者数
おさかな研究室	魚や水生生物等の観察、実験講座 メニュー：水の中の生き物調べ等、メダカの飼い方、魚の飼い方、うろこの観察、身の回りの水を調べ、ミクロの世界をのぞいてみよう、ザリガニとともにだちになろう等	4,976名
味わい工房	地域の農産物を活用した調理加工講座 メニュー：アマゾン魚料理、ソーセージ、かしわもち、草餅、花巻寿司、田舎まんじゅう	3,207名
創作工房	地域に伝わる伝統工芸等講座 メニュー：竹細工、木工細工、石絵、まゆクラフト、フラワーアレンジメント、和紙工芸、絵手紙等	5,892名
お魚ふれあい ステーション	魚のつかみどり、釣り講座 メニュー：つかみどり、エサ釣り、五目釣り、ザリガニ釣り、ルアー・フライ釣り	釣り池 13,148名 つかみどり 2,628名
体験受講者数合計		29,851名
その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ おさかな試食会（年間4回） ・ 写生コンクール作品展（10/7～10/26） ・ トリックオアトリートフードクイズ（10/13） ・ 釣り大会（冬：12/7、春：3/14） ・ 水遊園思い出写真展示会（1/31～2/22） 	

(5) 地域及び教育機関等との連携事業

なかがわ水遊園事業推進懇談会を核として、地域と連携したイベントの開催、地域が主催するイベントへの参画など、沿川地域の活性化及び都市と農村との交流に寄与できる事業を実施した。なお、博物館相当施設として、水と水生生物との「ふれあい」をはじめとする地域の自然や文化等についての理解促進を図るため、教育機関への情報提供に努めた。

また、学校がキャリア教育として実施している「マイチャレンジ」等の就業体験、大学生による「博物館実習」、教職による「社会体験等研修」を積極的に受け入れることにより、活動の支援を行なった。

項目	事業内容
地域連携事業	<ul style="list-style-type: none">・アクアソーシャルフェス（那珂川清掃活動）（5/17, 9/14）・大田原市 PR イベント（6/21、22）・那珂川町 PR イベント（6/28、29）・那須烏山市 PR イベント（7/5、6）・那珂川大感謝祭（9/14）・なかがわ里山ポタリング（11/16）・なかがわわくわくワークショップマルシェ（11/16）・羽田ミヤコタナゴ再導入事業（年間）
学校のキャリア教育	<ul style="list-style-type: none">・中学校：12校 25名・高等学校：4校 12名・専門学校：5校 6名・大学：3校 3名・その他教員等：4校 4名計 28校 50名

2 附帯事業（ショップ等事業）

栃木県なかがわ水遊園内のミュージアムショップ及び喫茶コーナー等の運営を、公社の自主事業として実施した。「ピラニアバーガー」「ピラルクーランチ」など話題性の高いメニューを開発・販売した。

事業報告附属明細書

平成26年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。

参考資料 1 主たる会議等

年月日	内 容
平成26年	
4月18日	けんちょう de 愛ふれあい直売所出展 (計10回)
30日	事業説明会 (とちぎアグリプラザ)
5月 7日	栃木6次産業化サポートセンターの設置
9日	青年就農給付金 (準備型) 申請の公募実施 (全4回)
～23日	
6月 1日	新規就農相談会 in とちぎ 2014 (全5回)
4日	監事による監査 (とちぎアグリプラザ)
7日	とちぎ夢大地カレッジ活動 (全3回)
11日	第10回理事会 (とちぎアグリプラザ)
18日	第1回栃木県なかがわ水遊園事業推進懇談会 (なかがわ水遊園)
23日	農地中間管理事業推進会議 (全3回)
26日	第7回評議員会 (とちぎアグリプラザ)
28日	第11回理事会
29日	農地中間管理事業借受希望者公募 (全4回)
～7月28日	
8月18日	とちぎ食育応援団活動力アップ研修会
26日	新規参入フォーラム in とちぎ 2014 (宇都宮市)
9月 7日	とちぎ夢大地応援団活動 (全10回)
9日	とちぎ6次産業化実践塾開講 (全6回)
10日	「つなごう! 食と農の実践講座」開講 (全8回)
29日	平成26年度栃木県青年農業者海外派遣研修 (オランダ・イタリア・フランス)
～10月 8日	
14日	第12回理事会
11月15日	とちぎアグリプラザまつり2014開催
20日	第8回評議員会
12月 6日	新規就農相談会 in 品川 (東京都ハローワーク品川)
13日	新規参入現地セミナーin とちぎ 2014 (宇都宮市・壬生町)
16日	農地中間管理事業第1回農用地利用配分計画決定 (全5回)
平成27年	
1月 8日	6次産業化実践者交流会 (宇都宮市)
19日	第1回農地中間管理事業評価委員会 (とちぎアグリプラザ)
2月 3日	公社営畜産事業現地研修会 (東京都)
25日	第2回栃木県なかがわ水遊園事業推進懇談会 (なかがわ水遊園)
3月 9日	指定管理運営に係るとちぎ花センター第三者評価会議 (とちぎ花センター)
18日	第13回理事会 (とちぎアグリプラザ)
19日	外部有識者意見交換会 (なかがわ水遊園)
26日	第9回評議員会 (とちぎアグリプラザ)

参考資料 2 役員・評議員・職員等調

1 役員

区 分		平成 27 年 3 月 31 日現在(名)	平成 26 年 3 月 31 日現在(名)
理 事	常 勤	2	2
	非 常 勤	7	8
	計	9	10
監 事	2	2	
合 計	11	12	

2 評議員

区 分	平成 27 年 3 月 31 日現在(名)	平成 26 年 3 月 31 日現在(名)
評 議 員	10	10

3 職員

区 分	平成 27 年 3 月 31 日現在(名)			平成 26 年 3 月 31 日現在(名)		
	職員	パート・臨時	計	職員	パート・臨時	計
事 務 局 長	1		1	1		1
総 務 部	5	1	6	5	1	6
農地集積推進部	8	1	9	5(1)	1	6(1)
農 政 対 策 部	9(2)	2	11(2)	8(1)	1	9(1)
事 業 部	8(1)	1	9(1)	9(1)	1	10(1)
とちぎ花センター	14	9	23	12	10	22
栃木県なかがわ水遊園	38	4	42	38	5	43
合 計	83(3)	18	101(3)	78(3)	19	97(3)

(注) () 内は県派遣職員で内数